

# 令和7年度 事業計画書

## 1. 事業活動方針

この30年余りの間、バブル経済の崩壊に伴う混乱やデフレ、リーマンショック、東日本大震災をはじめとする数多くの自然災害、新型コロナウイルス感染症といった幾多の難局を経験し、停滞してきた日本経済ですが、国内総生産、設備投資が過去最高を更新し高い賃上げ率が実現するなど状況が改善しつつあります。

シルバー人材センターは、人口減少、少子高齢化が進展し高齢者のより一層の活躍が期待される中で、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、地域の特色や実状を踏まえて積極的な取組を強化していく必要があります。

当センターの諸事業に関しては、人手不足に加え夏の酷暑等、天候に大きく影響を受け草刈、植木作業の新たな受注を中止せざるを得ない状況でしたが、植木作業においては、予約方法を見直しすることにより受付を再開することができました。

令和7年度も引き続き会員拡大を核に据えて、女性会員の拡大、退会抑制、シニア世代が活躍できる就業環境の整備を積極的に進めてまいります。

## 2. 事業内容

### 【1】受託事業の拡大

#### (1) 事業目標

項目	当年度目標値	前年度目標値
会員数 (人)	278	278
契約金額 (千円)	120,887	124,610
就業率 (%)	90	82
受託件数 (件)	1,400	1,574

#### (2) 会員増強

- ① 入会説明会を定期的を開催する。(年12回)
- ② 顧客や会員などの口コミにより入会促進を図る。
- ③ 会員募集チラシの全戸配布を継続的に実施する。
- ④ 公共施設を活用し、広く町民に告知する。
- ⑤ 入会動機と入会申込のきっかけを要因分析し効果的に入会に繋げる調査研究を行う。
- ⑥ 退会者の退会理由の要因分析を継続して実施し対策を講じる。
- ⑦ ホームページを活用し、情報を定期的に提供する。
- ⑧ 入会促進用映像媒体を有効活用する。
- ⑨ 居住地域ごとに入会促進策を検討する。
- ⑩ 社会参加活動(教室・講座)を通じたセンターの周知・会員獲得を図る。
- ⑪ 会員紹介運動の実施。入会者・紹介者に対する特典付与等を検討する。
- ⑫ 女性正会員数の拡充を図る。

### (3)就業機会の開拓

- ① 顧客へセンターの業務内容や受託可能な職種をPRする。
- ② 未就業会員解消への取り組みを積極的に実施する。(就業相談、声掛け)
- ③ 発注者(新規)アンケートを実施する。
- ④ 他市町村シルバー人材センターの実施事業の調査研究を行う。
- ⑤ 企業等に請負、委任事業以外に派遣事業もPRして就業形態の多様化を図る。
- ⑥ 高齢者活躍人材確保育成事業(県シ連主催の講習会)を活用する。
- ⑦ 新規事業開拓  
子育て世帯等に対する家事援助サービスの調査研究等による新規事業の開拓を行う。
- ⑧ 介護保険・生活支援サービス事業(訪問型サービスA)の拡大のため町への働きかけをする。
- ⑨ 女性会員の就業機会確保に向けた調査研究を行う。

### 【2】シルバー派遣事業の推進

派遣事業にて新規職種開拓を行う。

### 【3】有料職業紹介事業の推進

臨時的・短期的な雇用を求めている高齢者に随時職業紹介を行う。

### 【4】就業に必要な知識及び技能習得のための講習会を開催

- ① 技能や安全操作の必要な職種の講習会を継続する。(草刈、襖、植木)
- ② 就業需要の有る職種を研究し、その職種の実施に向け必要な講習会を開催する。(町と連携し訪問型サービスA事業の拡大等)
- ③ 会員の持っている技術・技能・資格・経験等を整理し、活用できる職種に合った講習会を実施する。
- ④ 技能職種班に技術・技能伝承の講習会を実施する。

### 【5】普及啓発活動の展開

- ① 会報誌「シルバーさむかわ」を発行する。
- ② 「事務局だより」(A4)を発行し、理事会、委員会、事務局等からの情報提供の場とする。
- ③ ホームページの適宜更新を含め、内容を常に見直し、入会者及び新規顧客の獲得を図る。
- ④ PRチラシの配布(全戸配布又は地区限定配布)を行う。
- ⑤ 賛助会員の募集を図る。

**【6】安全就業及び交流事業の推進**

- ① 安全就業推進委員会を定期的を開催するとともに、不定期に安全パトロールを実施する。
- ② 安全講習会を開催する。
- ③ 会員交流事業を推進する。

**【7】その他**

- ① デジタル化推進のための調査・研究を行う。
- ② 就業に関する相談を随時実施する。